

8/24 二学期始業式 (放送室から流して、各学級ごとに教室で実施)

「3人の皆さんのスピーチ、素晴らしかったと思います。」

全国の小中学校においても、この夏休み中に新型コロナウイルスに感染した人があちこちから出ています。たまたま本校では、感染したということは起こっていませんが、でも、いつ感染者が出てもおかしくない状況です。ニュースで出ている東京都の状況などを見ると、毎日たくさんの感染者が出ていて、感染したからといって、具合が悪いからといって、入院できない、自宅で過ごすしかない、さらにその状況で具合がどんどん悪くなっていき、自宅で亡くなってしまったという人も何人か出ています。非常に悲しい状況が起きています。青森市で、本校でそういう悲しい状況が起きないように、一人ひとりがどうやって感染しないような行動をとればいいのか、ということを中心に考えて生活してほしいと思います。昨年、全校集会で言いましたが、私たちは学校に来ると、もしくは、家にいると、その場にいる人一人として、コロナに感染している人はいないという前提で無意識に生活しています。だからついつい大きい声で言い合ったり、きちんと注意すればそういう行動にいかないのに、そういうことをしてしまっている、ということをお話したことがあります。目に見えないわけですから、症状に出ればいいのですが、感染しても全く症状に出ないという人もたくさんいます。ぜひ、全員で気を付けてこの状況を乗り切りたいと思います。そのためには、ある程度、学校活動も一部を縮小したり、ガマンしなければならぬということも出てきます。

夏休み中に青森県内でも災害が発生していて、大変な思いをして生活している人たちもいます。今現在も非常に不便な思いをして生活している人もいます。いつ災害がやってくるかわかりません。これから避難訓練もありますが、避難訓練があろうとなかろうと、そういう災害の場合、どういふような行動をすればいいのか、中学生であればきちんと考えて生活してほしいと思います。この2学期、一人ひとりが自分の目標に向かえるように頑張してほしいと思います。」

(横山校長のお話)



横山校長

自分の命と周りの人の命に責任をもとう！

☆休み時間・昼休みの過ごし方について以下を

1 学期以上に心がけていきましょう。

- ・ 誰かと話すとき、必ずマスクを着用
- ・ 大きな声を出さない
- ・ 密にならない
- ・ こまめに石けんで手を洗う

生徒指導主事より



保健委員会が考えてくれた

コロナ予防の合い言葉

- 「まよ」：距離をとる
 - 「うが」：うがい
 - 「も」：物音を立てないで歩く
 - 「ひ」：飛沫を飛ばさない
 - 「ま」：マスクをする
 - 「で」：手洗い
 - 「しょ」：消毒
 - 「か」：換気
- 再確認しましょう！

コロナを寄せつけない！コロナをはねのける！

1 清掃について

1 学期皆さん大変よく掃除をしてくださいました。改善点を素早く気付いて自分たちからきれいにしてくれたこと感謝したいと思います。給食の後片付けの後の廊下もきれいに拭き取ってくれて良かったです。

2 学期もぜひ、続けてお願いします。思いやりBOXを設置して、ゴミ回収の人の手に自分のティッシュなどが触れないように心配りしてほしいと思います。

2 コロナ予防について

- ・ 前と後ろの戸の上の欄間を常に開けておく。
 - ・ 前の窓、後ろの窓は常に開けておく。空気を流す。
 - ・ 扇風機、サーキュレーターも常に回しておく。
 - ・ 洋式トイレを使ったら、必ずふたを閉めてから水を流す。
 - ・ 人との距離が近すぎます。飛沫を飛ばさないように。
(マスクをしていても大きな声だと飛沫は飛びます)
 - ・ そうじ・給食前に水飲み場に行くときなど密になりそうときは、
当番を先に行かせる等、密にならないように工夫する。
- みんなで強い思いをもって、コロナを寄せつけない、コロナをはねのけて、コロナによっていろいろ制限されているこの時期を乗り越えてほしいなと思います。

保健主事より



二期の決意



この夏休みで頑張ったことは、二つあります。

まず一つ目は部活動です。僕が所属する野球部は、ほぼ毎日活動があり、炎天下の中での練習に辛さを感じることもありました。しかし、みんなで励まし合って練習し、声を出すことで、最後まで一生懸命に練習できました。そのおかげで体力がただけでなく、暑さに負けない集中力を得ることができました。試合でヒットを打てたとき、自分の努力が実ったと実感することができました。

二つ目は勉強です。夏休みだからといってだらだらと過ごすのではなく、自分で立てた計画の通りに学習を進められるよう、毎日意識して生活しました。その結果、夏休みの課題を効率よく進め、特に苦手な国語の学習に、じっくりと取り組むことができました。また、余った時間で実力テストに向けての勉強もするなど、時間を有効に使えたと思います。

いよいよ今日から二期が始まります。勉強もより難しくなり、秋には新人戦もひかえています。夏休みの成果を生かして、部活動では自分から大きな声を出して仲間と励まし合うこと、テストでは計画的に、自分の苦手な教科にも積極的に取り組むことを目標に、二期も頑張りたいと思います。

(1の3 男子)



二期に重点的に頑張りたいことは、まずは学習面では、自分の苦手分野を克服することです。そのためには、普段の学習において復習を丁寧にすることが大切だと考えました。私は、一学期に自分の解いた問題の丸付けや見直しを少し適当にしていたところがあり、同じような問題をまた間違えるということがあったため、気を付けたいです。また、克服するために何でもチャレンジする精神も身に付けたいです。自分の苦手分野を知ること、テストに向けての対策も考えられるので意識していきたいです。

次に生活面では、時間に余裕をもつことです。一学期は時間に余裕をもつことをあまり気にしていませんでした。ですから、次にやるべきことに慌ててとりかかることになり、その結果ミスも増えてしまいました。時間に余裕をもつためには、やるべきことを先に済ませることが必要です。私自身もそうですが、クラスの様子を見ていると、以前と比べて二分前着席への意識が薄れてきているように感じるので、時間の使い方に注意し、周りにも声かけをしていきたいと思います。限られた時間の中で何ができるかを自力で考え、学校で過ごす時間を大切にしていきたいです。(2の2 女子)



夏休みと七月中にまずは宿題を全部終わらせて、八月は模擬テストに向けてや苦手なところを中心に勉強するという目標を立てました。一、二年生の夏休みは朝早く起きられず、のんびりしている時間が多かったので、今年は学校に行くの日と同じ時間に起きて生活が乱れないように意識しました。一日を有効に使えるようになったと思います。

二期の目標は、次々テストがおこなわれるので、目標の点数をとれるようにしたいです。そのためには、得意な教科は確実にできるように復習し、苦手な教科は何回も繰り返し解き、きちんと理解できるように粘り強く頑張りたいです。目標を立てただけで満足せず、苦手なことを後回しにしないで、計画的にやりたいです。二期は受検に対して真剣に取り組む時期なので、志望校合格に向けて、一日、一日を大切にコツコツ頑張りたいです。また、合間などに漢字の練習をするなど、時間を無駄なく活用したいです。

二期は、行事もあります。コロナ禍で文化祭があるかわかりませんが、あったら、クラスの皆で団結して三年生最後の行事を全力で楽しみたいと思います。

受検生なので、コロナにならないようにしっかり感染症対策をして、健康で本番に挑めるようにしたいです。(3の2 女子)

入賞

おめでとう



3の1 Kさん
3年100m第4位 11秒69
(東青地区陸上選手権大会)



3の1 Aさん
男子A級 第1位
(市民シングルスソフトテニス大会)



2の1 Nさん、2の2 Sさん
女子個人 第5位
(東青中学校夏季ソフトテニス大会)

9/3 全校で聴く「SDGs 講座 ～SDGsの目標:「誰一人取り残さない」～」



SDGs 17 の目標

明の星中学・高校では、「誰かの為に」自分を変えるというテーマでグローバル教育に力を入れ、多様な経験を通してグローバル問題についてその解決策を導き出し、自ら行動を起こすことのできる国際社会に通用する生徒の育成を目指し、その一環としてSDGsの学習に積極的に取り組んでいるそうです。

今回はその中心として活躍されている明の星高校のホーン先生と明の星中学・高校生（3人）からリモートで講演していただきました。

明の星中学・高等学校の「チームSDGs」はいろいろなことをやっていますすごいと思いました。あのような活動はできないけれど、身近なことからやっていきたいです。ペットボトルや服のリサイクルなどは、私にもできると思うので、率先して取り組んでいきたいです。（1の1女子）

ホーン先生の言っていた「SDGsは世界の市民や女性などの1000万人以上と一緒に考えた」ということが衝撃でした。そのことから世界の、本当に必要なことが集められたのが『SDGs』なんだなと思いました。びっくりしたことや改めて分かったことがたくさんありました。その分かったことを生かしてこれからの未来のために貢献したいです。（2の1女子）

日本のSDGsの17の目標は半分しか達成できていないけれど、2030年までにすべて達成できるようにしたいなと思いました。（3の5男子）

SDGsに17個の目標があるのを知っていたけれど、ターゲット目標が169個もあることに驚きました。世界では「気候変動に具体的な対策を」が一番達成されていないということで、このままだと家の1階部分が全て水没してしまう規模のものが起きてしまうほど重要なことだと再認識しました。自分が協力できることをしっかりと見極め、貢献していきたいです。（3の2女子）

9/7 放送朝会「自分にできること・・・」

「パラリンピックを見ましたが、いかなる人も可能性をもっているということが伝わってきて、勇気をもらいました。全世界の皆さんが感動したと思います。前回のオリンピックもあわせて、非常に素晴らしい大会でした。

アスリートたちが、100%自分の可能性を発揮できるよう、かげになって支えていた2万人のボランティアがいたことを知っていますか。閉会式に選手が入場してくる花道の横に立って、絶えず笑顔で迎えるボランティア、競技場の内外での掃除や消毒、後片付け、通訳等をおこなうボランティア、献身的におこなっていたそうです。今回のオリンピックやパラリンピックでのこのようなボランティアの皆さんの働きぶりについて、SNSに次のような感謝のメッセージがあげられていました。

- ☆ 「親愛なるボランティアの皆さん、あなた方がいなければ、これは不可能だったでしょう。オリンピックの精神をもう一度よみがえらせた仕事に感謝します。これらのオリンピックはあなた方なしでは起こり得なかったでしょう。」
- ☆ 「こんなボランティアは見たことがない」
- ☆ 「東京には最高のボランティアがいた」
- ☆ 「今回のヒーローはボランティアの人たちだ」
- ☆ 「素晴らしい仕事です!!」
- ☆ 「献身と努力に対してすべてのボランティアに感謝します」
- ☆ 「オリンピックをととても思いで深い素晴らしいものにしてくれてありがとう」
- ☆ 「日本のボランティアはただただ最高」



横山校長

と、ボランティアの皆さんがボランティアのユニフォームである青いポロシャツを着て頑張っている写真が投稿されていました。

お金をもらって参加しているボランティアとお金をもらわないで参加しているボランティアがいましたが、お金をもらわないで純粋に参加しているボランティアの方に「お金をもらわずに、なぜ、このように一生懸命できるのですか」とインタビューすると、その方は「選手が一生懸命頑張る姿を見たい、ただそれだけです。」と答えているのを見ました。後々、自分が誰かに助けられることがあるかもしれません。他の人のためと思ってやっていることが自分のためになることがあるかもしれません。日本では災害の度に、ボランティアの方々が救助に参加しています。いろんな場面で、自分のできる範囲で、自分にできることを考えて実行することは大切なことだと改めて思いました。皆さんも、自分にできること、考えてみましょう。」（横山校長のお話）



お～浪打中にも「ボランティア」をしている皆さん、発見！赤トレパンだから、3年生!? 避難訓練終了後、今回の訓練は天候がよく、校庭に避難できたので、中ズックのまま逃げて戻ると、ズックを拭いても砂が残っているかと、自主的に廊下をモップがけ・・・

夏休み中 小中の交流 8/4 中学校での小6部活動体験(浪打小と合浦小6年生希望者が参加)



開会式



ソフトテニス部

陸上部体験部活動体験会はとても楽しかったです。先輩達ともすごく話がしやすく、良い雰囲気、練習がとても楽しく集中でき、今までよりももっと速く走れるようになりそうです。内容もずっと走っているだけではなく、少し難しい練習もあるけれど、いろいろな動きがあって、今までは使っていなかった筋肉も使えて、新しいことにも気付きました。合浦小の人とも会話をたくさんしたいです。(浪打小6年Sさん)

美術部体験 開会式でのKさんの話を聞いて、「あいさつ」は相手の心を開くためのものでもあったことがわかりました。美術部では、絵を描いてみて、中学生の先輩方が描いた絵を見せてください、もっと上手な絵を描きたいと思いました。先輩方の絵が本物みたいで素敵でした。もっと努力して本物みたいにきれいな絵を描けるようになりたいです。中学生の部活について少しわかって良かったです。もっと厳しいのかと思っていたのですが、やっていけそうなくらいの優しさがあったので安心しました。(合浦小6年Kさん)



美術部

8/5 中学校での小6学習会(浪打小と合浦小6年生希望者が参加、本校2年生の有志が小学生に学習会を開催)



中学校生活・学習についてのオリエンテーション

中学生の人たちはどんな人だろうと考えながら学習会に来ましたが、とても優しく、おもしろくて、とても学習しやすかったです。たくさん声をかけてもらえ、みんな明るいので、いつもより楽しく学習できました。ありがとうございました。また、勉強だけでなく、浪打中学校の生活のことも教えてくれて、「入学したらこんなことをするんだ」とイメージしやすかったです。「2時間も勉強するのか…」と思っていたけれど、思っていたのより、何倍も楽しかったです。改めてありがとうございます。(浪打小6年Kさん)



私たちが3年生のときに1年生になるのだなと思うと、ちょっとだけ心が温かくなりました。意外と人数が多くて驚いたけれど、一人一人に目を配らせてみんなで協力してアドバイスできたかなと思います。6年生も中学校入学への心配が減ったと思うし、2年生も理解がさらに深まると思うので、また開催してもらいたいです。(浪打中2の2女子)

中学生の人たちは、答えではなく、解き方などをわかりやすく説明していて、とてもスムーズにできました。話を聞いて、明るく優しく話してくれて、話しやすかったです。休憩時間は話していたけれど、2分前には静かに黒板の前に立っていて、切り替えるのが速いと思いました。これらのことで中学生には問題を解く力よりも理解して説明できるようにならないといけないと思いました。ちゃんと切り替える力も大切だとわかったので、一つ一つ切り替えようと思いました(合浦小6年Mさん)

8/18 第2回浪打中学校区連携協議会



浪打小・合浦小・浪打中・学校評議員・町会長・児童・民生委員の代表、PTA 会長、地域学校協働活動推進員が本校に集まり、「地域と子どもたちとのつながり」「学校と地域が連携できそうな活動等」について情報交換をしました。学校と家庭と地域が手を合わせて子どもたちを育てていくことの大切さを共有し、連携のためのアイデアが出されました。とても有意義な話し合いができました。参加者の皆様ありがとうございます。

8/20 2021 いじめのない未来づくり子どもサミット

青森市内の全小中学校の代表児童・生徒がリモートで参加しました。本校生徒会から2の2 Iさんが参加しました。今回のテーマは「新型コロナウイルス～差別・偏見をなくそうプロジェクト」で、差別と偏見の繰り返しを断ち切るためにはどうしたらよいかについて話し合いました。「対策もそうですが、困ったことがあったら友だちに相談し、一人一人が流されないで自分の意見をもつことが大切だと思いました。」というIさんの感想でした。一人で抱え込まないこと、大事ですよ！



